

ニュース・年間行事

■2012年

○10月17日～19日「IPB (International Powder & Bulk Solids Processing Conference & Exhibition) 2012」に出展 (於：中国)

- ・ 中国市場での拡販に向けて以下の製品を紹介：
粉体特性評価装置 パウダテスタ PT-X, 篩分け機 エアジェットシーブ e200LS, 旋回流型ジェットミル スパイラルジェットミル 50AS, 衝撃型微粉砕機 ファインインパクトミル1400UPZ。

○11月14日～16日「第53回 電池討論会」に出展 (於：福岡)

- ・ 電池材料開発に寄与する粒子複合化技術, 粉体物性評価技術を中心に以下の製品を紹介：乾式粒子複合化装置 ノビルタ NOB-MINI, 粉体特性評価装置 パウダテスタ PT-X, 浸透速度測定装置 ペネトアナライザ PNT-N。

○11月22日 [新製品] オンライン粒子径分布測定装置の輸入販売開始

- ・ 2012年10月から, 英国Xoptix社が開発したオンライン粒子径分布測定装置「オプティサイザ」の輸入・販売を開始した。当装置は, 製造ライン中を流れる粉体の粒子径分布をリアルタイムかつ連続的に測定し, パソコン画面上でモニタリングすることが可能である。



○11月28日～30日「粉体工業展東京2012」に出展 (於：東京)

- ・ ナノパーティクルテクノロジー関連を含む以下の新製品などを紹介：直接加熱型気流式乾燥機, ドライマイスタH型DMR-H湿式篩分け機 ヴィブレットVBL, 円錐型高速混合機 バイトミックス VX-200, 高冷却型機械式粉砕機 グラシス GC-600, 連続湿式造粒機 フレキシミックス FXD-160, 集塵機 バグインバグアウトバル

スジェットコレクタ BBP-800-2, 粉体特性評価装置 パウダテスタPT-X, 浸透度測定装置 ペネトアナライザPNT-N, オンライン粒子径分布測定機 オプティサイザ XO01P/p, 篩分け機 エアジェットシーブ e200LS, 乾式粒子複合化装置ノビルタ NOB-MINI, 研究開発パイロット用ナノ粒子合成装置 ナノクリエータ FCM-MINI, ナノ粒子合成装置 ナノクリエータ FCM-400F。



○12月4日 [新製品] 湿式篩分け機 ヴィブレットVBL の販売を開始

- ・ 当社従来機を全面改良して開発。凝集性の強い粉体や微量の粗大粒子の測定を必要とする粉粒体あるいはスラリー状原料など, 乾式でふるい分けが難しい試料に適している。液体をシャワー状に上方から噴霧して, 湿式でふるい分けを行う。簡単かつ短時間に測定を行うことが出来, 再現性も高い。



○12月4日 ドイツ子会社の工場増設・改修投資を発表

- ・ 当社グループの欧州主要拠点であるホソカワアルピネA.G.(アウグスブルク/ドイツ, P. Krieg社長, 従業員602名)において, 将来に向けた生産能力の向上を図るため, 工場設備の増設と改修工事を決定した。今回の設備投資は, 2008年4月の第一期工事, 2009年の12月の第二期工事に続く第三期

工事となる。今回の第三期工事では、総額11.2Mユーロ（約13.6億円）を投じ、粉体処理装置大型機およびプラスチック薄膜製造装置テスト設備を中心とし工事と事務所を確保する工事を行う。

○12月13日 産学共同開発による経口DDS製剤化技術が粉体工学会「技術賞」を受賞

- ・難治性炎症性腸疾患の根治を目指して、産学協同開発で、「核酸含有PLGAナノ粒子技術を用いた経口DDS製剤の研究開発」が、近畿経済産業局の「地域イノベーション創出研究開発事業」に採択されている（2011年2月発表）。今回その研究成果の一部が、2012年度粉体工学会・秋季研究発表会で発表されて、「技術賞」を受賞した。

■2013年

○2月27日 [新製品] 気流乾燥機ドライマイスタDMR-H型の発売を開始

- ・当社従来機を改良して開発された。ドライマイスタは、粉碎・分級機構を有する直接加熱型気流式乾燥機であるが、その処理能力を上げるとともに、エネルギー効率を高めることで、大幅に省エネ性能の向上を果たしている。湿粉やケーキ状の原料の乾燥に適しており、スラリーや水溶液の乾燥も可能なことから、原料の適用範囲が広いことを特徴とする。



○2月27日～3月1日 「第4回国際二次電池展2013」に出展（於：東京）

- ・最新の粉体設備機器と測定機を中心に以下の機器を紹介；
- ・球形化装置 ファカルティF-400, 研究開発パイロット用ナノ粒子合成装置 ナノクリエータ FCM-MINI, 研究開発用卓上ラボ機 ピコライン, ケミカルハザード防止用設備 ダウンフローブース, アイソレータ, 直接加熱型気流式乾燥

機 ドライマイスタDMR-H, その他（オンライン粒子径分布測定装置, 粉体特性評価装置, 浸透速度測定装置, エアジェットシーブ, ヴィブレット, バッチ式精密混合機および受託加工, 受託測定, メンテナンスサービス事業の案内など）。

○2月28日 [新製品] オリジナル化粧品ナノクリスフェア・シリーズ3商品を発売開始

- ・「パーフェクトジェリー」オールインワンタイプのジェル状美容液, 美肌・エイジングケア成分を強化, 「パウダリーモイストプラス」粉状美容液パウダリーモイストに, 4つの機能性を追加, 「スカルプエッセンス」ナノインパクト・シリーズの女性用浸透型発毛促進剤, ダブルテラ・レディを大幅に強化。



○3月6日 「第19回ホソカワ粉体工学シンポジウム」を開催

- ・粉体技術談話会の主催で、ホソカワミクロン枚方本社12階において、「電池の技術開発と高性能化を支える粉体工学」をテーマに開催された。4件の講演があり、80人の参加があった。

○4月23日 [新製品] 微小粒子状物質PM2.5測定装置を共同開発

- ・大気汚染が深刻な中国からの飛来が懸念されるPM2.5（微小粒子状物質）について、工場などの固定発生源から排出されるPM2.5濃度を高精度で測定できる装置「VI-PM2.5」を、東京農工大学大学院 神谷秀博教授, 塚田まゆみ技術専門員, 工学院大学 並木則和教授, オーストリア・ウイーン大学 W. W. Szymanski教授, 東京ダイレック株式会社と共同開発した。

○4月23日～25日「POWTECH2013」に出展（於：ドイツ, ニュルンベルク）

- ・「POWTECH2013」は、化学, 医薬, 食品, セラミックスなどの全産業分野に関わる世界最大規模の粉体機器関連の見本市。ホソカワミクロングループ企業で以下の機器を出展；衝突型ジェットミル ミクロンジェットMJQ, 湿式篩分け機 ヴィブ



レットVBL他多数

【参加グループ企業】 ホソカワミクロン株式会社 (日本), ホソカワアルピネA.G. (ドイツ), ホソカワビーベックスGmbH (ドイツ), ホソカワミクロンB.V. (オランダ), ホソカワミクロンLtd. (イギリス), ホソカワミクロンパウダースGmbH(ドイツ) の5社。

- 5月13日 [新製品] 高浸透型発毛促進剤「薬用ナノインパクトプラス」の販売を開始
 - ・頭皮料・育毛剤「ナノインパクト」シリーズ(2006年5月に会員制で発売開始)の男性用高浸透型発毛促進剤「薬用ナノインパクトダブルテラ」を配合成分と使い勝手の両面で大幅に強化・改良した。



- 5月15日～17日「第6回化粧品産業技術展 (CITE Japan 2013)」に出展 (於：横浜)
 - ・独自技術のPLGAナノ粒子を機能・用途別に紹介：各種PLGAナノ粒子(ニキビ, 吹き出もの用, 敏感肌用, 美白, 美肌用), 機能性PLGAナノ粒子を使ったOEM商品, 化粧くずれ防止PLGAナ

ノパウダー。

また、高浸透・徐放機能を活かした化粧品や育毛剤OEMを展示：オリジナル性の高いフリーズドライ化粧品の受託加工, 各種OEM(スキンケア, パウダー状美容液, ファンデーション, ヘアケア製品, 育毛剤など), 有効成分の封入に関するご相談あるいは受託研究。

- 5月20日 新東京事業所(千葉県柏市)で業務開始
 - ・関東各地に分散していた営業, 技術メンテナンス, テストセンターの各拠点を千葉県柏市に集約し, 5月20日付けで新東京事業所として業務を開始した。但し, 東京メンテナンスサービスは5月27日, 東京テストセンタは7月4日から業務開始した。



- 6月17日～19日「第11回中国国際電池, 原材料, 製造機械および電池部品展示交易会 (BATTERY CHINA 2013)」に出展 (於：中国)
 - ・中国でホソカワミクロングループが提供する以下の製品等を紹介：乾式粒子複合化装置 ノビルタ NOB-MINI, 粉体特性評価装置 パウダテスタ PT-X。
- 7月10日～12日「NANO KOREA 2013」に出展 (於：大韓民国)
 - ホソカワミクロングループとして以下の機器をで出展：
 - ・粉体特性評価装置 パウダテスタ PT-X, 乾式粒子複合化装置 ノビルタ NOB-MINI, 篩分け機 エアージェットシーブ e200LS, 乾式超微粉砕機 スパイラルジェットミル50AS, 衝撃型微粉砕機 ファインインパクトミル160UPZ, 小規模研究開発用卓上ラボ機 湿式媒体攪拌ミル ピコリック, 医薬用圧縮造粒機 ファーマパクタL200/50P + 解砕機FC200, コンテインメント アイソレータFCI。
- 9月3日 第47回粉体工学に関する講演討論会。ホソカワ粉体工学振興財団設立20周年記念事業を開催 (於：大阪)

- ・公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団の主催で、第47回粉体工学に関する講演討論会を、帝国ホテル大阪において開催した。「先端から基盤までを支える粉体工学の進歩」をテーマにした6件の講演と共に、財団創立20周年記念事業として、研究奨励賞授与式、三菱総合研究所理事長、東京大学総長顧問小宮山 宏先生による特別講演「日本「再創造」～技術とイノベーション」が行われた。参加者は221名。



編集後記

今年は、例年より多くの台風が日本を直撃し、フィリピンでは中心気圧895HPa、最大瞬間風速90m/秒というスーパー台風が高潮と重なって甚大な被害をもたらしました。また、ゲリラ豪雨や竜巻などこれまで日本ではあまり耳にしなかったような自然災害が続きましたが、これらには地球の温暖化が大きく影響しているといわれています。また、一昨年の中東大震災で大事故を起こした福島原発の原子炉格納容器からの水漏れの問題や、中国を中心とした新興国でのPM2.5による大気汚染の問題など、暗いニュースも多くありました。

一方、この1年程の間に円安傾向が急激に進み、日経平均株価も上昇してデフレ脱却の兆しが見えてきているようです。さらに、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決定して日本に元気と新たな希望が与えられ、また、東北楽天の田中将大投手の活躍や球団設立9年目の日本シリーズ優勝は特に東北の方々にとって大きな励みになったことと思います。

上記の環境、エネルギー関連のニュースについては、各種電池などのエネルギー変換装置や集塵技術など粉粒体技術に直接関係するテーマも多く、その活用やさらなる開発によって状況を改善し、生活環境やレベルを向上させることができる大きな可能性があると考えられます。

本号は、2013年3月にホソカワミクロン本社で開催された第19回ホソカワ粉体工学シンポジウム、ならびに同年9月に東京で開催された第47回粉体工学に関する講演討論会の講演内容を特集として編集されています。本誌につきまして、ご意見、ご要望等がございましたら、何なりと事務局までご連絡頂けましたら幸いです。よろしくお願い致します。

“粉砕” No.57 (2014)

2013年12月10日 発行
出版責任者 横山 豊和
発行 株式会社ホソカワミクロン
大阪府枚方市招提田近1丁目9
印刷 株式会社NPCコーポレーション
大阪市北区天満1丁目9-19
